

授業科目 児童福祉論 I

【担当教員名】 塩見義彦	対象学年	2	対象学科	社会
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【<概要>又は<一般目標：GIO>】
 全国的な都市化現象等地域社会の変貌は著しく、そこに暮らす子供達の生活ストレスを背景とした様々な問題行動が浮き彫りになっている。児童、子育て環境、社会のありよう全体を視野に入れ、そこで生み出される子ども自身の問題と多様な家族形態の中で抱える児童家庭問題の本質を考えてみたい。その上で、現行の児童福祉諸制度、児童福祉の理念、さらには政策・制度の現状と問題点について論じ少子高齢化が一段と進む中、子どものすこやかな成長を支える児童福祉、児童家庭福祉はいかにあるべきかを考える。

- 【<学習目標>又は<行動目標：SBO>】
- I 児童福祉の歴史と基礎概念について学習する。
 - II 現代社会と児童福祉について学ぶ。
 - III 子供を健やかに生み育てる環境について考える。
 - IV 児童福祉の法と児童福祉施策、実施体制について学ぶ。
 - V 児童福祉にかかわる専門機関、専門職種について学習する。

回数	授業計画又は学習の主題(変更の可能性あり)	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考
1	児童福祉の理念と概念 児童福祉の意味と目的、児童福祉の理念と概念について学ぶ	講義中心	
2	児童福祉の歴史 日本及び欧米の児童福祉の歴史について学ぶ		
3	子どもの養育責任 私的責任、公的責任、社会的責任について学ぶ		
4	児童の権利保障 児童の権利保障のあゆみと児童の権利に関する条約について学ぶ		
5	戦後日本の社会変動 変化する社会の中における児童について学ぶ		
6	少子社会 少子化の現状と施策の計画的推進について理解する		
7	児童福祉の実施体制 福祉基礎構造改革の動きと児童の権利擁護について理解を深める		
8	児童福祉サービス 子育て環境をめぐる現状と支援施策の基本的方向について学ぶ		
9	児童虐待とはなにか 児童虐待の現状と対策について学ぶ		
10	児童虐待対策 同上		
11	児童福祉の法制Ⅰ 児童福祉の法体系と法制をめぐる動きについて学ぶ		
12	児童福祉の法制Ⅱ 同上		
13	児童福祉の実施体制 児童福祉施策の体系と実施体制について学ぶ		
14	児童福祉の財政 国及び地方公共団体の負担と国庫補助金について学ぶ		
授業の進捗状況等の都合により変更する可能性がある。			

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	「児童福祉論」	「新版・社会福祉学習双書」編集委員会	全社協	2007・2000(税別)
参考書	「児童福祉論」	福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版	2006・2500(税別)
その他の資料	必要の都度指示、配布する			

【評価方法】 レポート、試験、出席状況、授業態度等総合的に評価する	【履修上の留意点】
--------------------------------------	-----------